

調査・研究委員会

委員長 板谷 英彦 副委員長 田中 良一 副委員長 中島 渉

1. 役割と基本活動方針

診療報酬における医療機器の適正評価などJIRAの戦略や諸活動の基礎となる独自の市場統計等の基礎データの収集を継続実施して、事業環境、事業形態の変化に合わせてそれを改善していくほか、画像医療システムの導入状況調査など会員各社に影響を与える諸事項の調査・研究を実施する。

2. 2020年度の主な活動計画と実績・成果

2.1 市場統計

(1) 市場統計の概要

調査対象：画像医療システムの生産高・輸出高・輸入高及び国内市場

調査品目：約100品目、調査間隔：月単位

(2) 統計参加企業への報告

月ごとの画像医療システムの生産・輸出・輸入・国内市場の金額を集計して、月・四半期・半年期・年度・暦年ベースで市場統計データとして統計参加企業にWebシステムで遅滞なく、報告した。

(3) 一般会員への公開

一般会員には、2011年度から、JIRAホームページ上に「JIRA市場統計（一般会員向け）」の専用ページを設け、四半期・半年期・年度・暦年ベースで「総括表」と「レビュー」の公開を開始し、2020年度も継続した。

(4) 市場統計の継続的な精度確保

各社の市場統計担当者向けのアンケートを実施し、明確化が必要な項目を把握した上で、JIRA-Statの説明も含め、2021年1月にWebライブとVOD視聴（1週間）の説明会を実施した。

事後のアンケートから各社の担当者が、市場統計の重要性を再認識された。さらに、JIRA-Statの初期稼働も大きなトラブルなく各社担当者が使用できた。

2.2 導入実態調査

(1) 調査の概要

全国の約1000の医療機関を対象に行った「画像医療システム等の導入状況と安全確保状況に関する調査」（導入実態調査と記す）にて、医療機関における画像医療システムの導入状況、安全点検・安全確保の実態を調査した。2020年度は、第18回目の調査となる。

(2) 調査報告の公開

調査報告書は関係省庁・学会・団体に配布し、その概要をJIRAホームページに掲載した。また、2020年11月にVOD視聴（1週間）の説明会を実施した。

(3) 調査報告の活用と成果

経済部会などと連携の上、関係団体とも協力し、保守点検実施による医療機器の安全確保の啓発活動を積極的に行った。

3. 2021年度の活動計画概要

2021年度は、JIRA市場統計システムのリプレースを円滑に実施し、Webを活用した入力・集計システム（JIRA-Stat）を用いたJIRA市場統計システムの円滑な運営と信頼性向上に向けた活動を継続すると共に、「画像医療システム等の導入状況及び安全性確保状況に関する調査（以下、導入実態調査と記す）」を継続し、第19回目として実施する。

3.1 市場統計

- (1) JIRA市場統計の精度確保を継続した上で、関係部会/委員会とともにJIRA会員に公開を継続する。
- (2) 継続性を確保しつつ、必要に応じて調査品目の分類等の再検討を関係部会/委員会とともに実施する。さらに、販売方法の多様化に合わせたJIRA市場統計の改良等の検討を実施する。
- (3) JIRA市場統計の継続した精度確保のために、市場統計システムのリプレースを円滑に実施し、効果的、効率的に信頼性のある統計の作成を継続する。
- (4) JIRA会員企業にさらに有用な方法で報告を実施する。ニューノーマルの時代を見据え地方からの参加も容易なようにWeb活用を最大化する。

3.2 導入実態調査

- (1) 診療報酬改定や安全性確保などのJIRA内外の基礎データとするための導入実態調査を継続して実施する。
- (2) 調査項目は、導入状況、保守・安全確保状況、安全管理体制の調査を柱とする。
- (3) 調査報告書は、関係の省庁、学会、団体に配布すると共に、そのポイントはJIRAホームページを通じて広く公開し、経済部会、広報委員会などと連携の上で広報し、健全な産業の発展のための諸活動の基礎データとする。説明会はWeb活用を最大化する。
- (4) 調査項目は、継続性を確保しつつ、JIRA内の関係部会/委員会と改善を検討する。

3.3 その他

国内外の動向を注視し、本会活動に有益な諸統計資料の調査研究などの活動を必要に応じて行う。

(参考) 市場統計より

表1 画像医療システム(生産高・輸出高・輸入高・国内市場) 2020年度通期(4-3月)

単位: 金額: 百万円

品目	区分	生産(販売)高		輸出高		輸入高		国内市場			
		金額	前年比金額(%)	金額	前年比金額(%)	金額	前年比金額(%)	台数	前年比数量(%)	金額	前年比金額(%)
1. 診断用X線装置		146,931	99	59,481	95	21,391	100			108,841	102
システム		77,888	93	29,823	92	21,237	101	9,489	98	69,302	95
システム構成装置類		69,043	107	29,658	98	154	59			39,539	115
(システム内数)一般X線透視撮影装置		16,400	81	3,678	56	65	58	788	86	12,788	92
循環器用X線透視撮影装置		13,244	79	6,886	77	14,749	103	219	93	21,106	95
一般X線撮影装置		14,709	97	3,374	90	332	228	3,286	95	11,667	101
乳房用X線撮影装置		5,741	69	2,679	53	1,477	71	353	90	4,539	85
回診用X線撮影装置		14,566	241	9,577	275	98	127	1,189	241	5,087	193
歯科用X線装置		8,917	72	3,149	83	0	-	2,738	84	5,767	68
2. X線CT装置		106,257	119	66,109	109	16,029	114			56,177	131
システム		87,975	128	55,265	116	13,956	113	1,323	117	46,667	141
システム構成装置類		18,282	88	10,844	85	2,073	115			9,511	97
3. 診断用核医学装置		3,678	135	1,683	295	8,706	65			10,701	69
システム		1,794	166	610	323	8,445	66	129	96	9,629	70
システム構成装置類		1,884	114	1,073	282	261	51			1,072	60
(システム内数)PET関連		1,336	246	610	323	5,159	60	29	62	5,885	66
4. 診断用磁気共鳴装置		25,891	87	14,105	89	25,372	73			37,157	76
システム		25,558	88	14,053	92	23,017	72	392	77	34,522	76
システム構成装置類		333	43	52	9	2,355	74			2,636	78
5. 診断用画像処理システム		44,411	93	3,111	133	2,801	98			44,101	91
6. 関連用品		11,529	92	7,404	90	564	74			4,689	93
装置		6,753	91	4,730	87	8	123			2,031	101
器具		569	106	25	168	0	-			545	105
用品		4,207	93	2,650	96	556	74			2,114	84
7. 超音波画像診断装置		83,423	96	45,371	87	22,347	110			60,399	109
システム		56,721	94	26,226	80	21,383	111	13,839	99	51,878	111
システム構成装置類		26,702	99	19,146	99	965	103			8,520	100
8. 骨密度測定装置		599	72	0	-	967	72			1,566	72
9. その他の画像診断装置		141	62	6	53	0	-			135	62
診断用装置計		422,859	101	197,270	98	98,178	90			323,767	100
10. 治療用装置		15,622	90	7,226	-	10,373	86			18,769	64
システム		13,301	93	7,226	-	10,025	86	90	74	16,099	62
システム構成装置類等		2,321	75	0	-	349	106			2,670	78
合計		438,481	101	204,496	101	108,551	90			342,536	97

※国内市場 = 生産高 - 輸出高 + 輸入高

単位: 億円

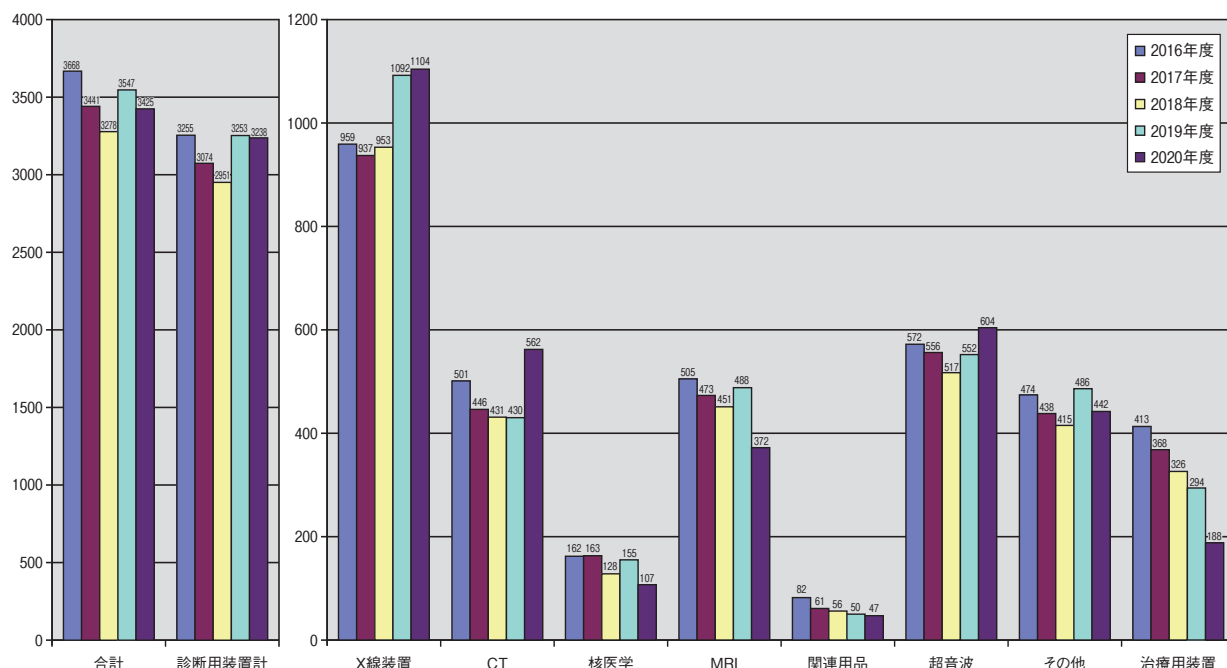


図1 主要装置 国内市場 2016年度~2020年度